

2021 年度
事業報告

(2021年4月1日から2022年3月31日)

公益財団法人 在宅医療助成 勇美記念財団
代表理事 住野 耕三

事業の状況

助成金の交付について

<公益目的事業1>

「提供者側・利用者側双方の視点からの在宅医療等に関する調査研究への助成」

(99,402,746 円 : 95 件/2020 年論文枠 2 年目分 4,960,000 円 : 6 件含む)

一般公募(前期)「在宅医療研究への助成」(27 件):18,998,814 円/予算 23,000 千円

(単位:円)

No.	氏名	研究テーマ・所属	日付	助成金額
1	井藤 佳恵	認知症高齢者のアドバンス・ケア・プランニング 東京都健康長寿医療センター研究所 医師研究員	8/31	1,250,000
2	宮園 弥生	災害時小児周産期リエゾンと連携した医療的ケア児の災害支援ネットワークの構築 筑波大学 医学医療系 小児科 准教授	8/31	2,000,000
3	村川 奨	新型コロナウイルス感染症(COVID-19)流行下における訪問看護師のリスクコミュニケーションの実態・未知の災害に備えて 北海道公立大学法人札幌医科大学保健医療学部看護学科 助手	8/31	983,920
4	岩田 友里	壮年期の終末期がん患者の希望に関する看護支援・複数事例研究 東京大学大学院 医療系研究科 健康科学・看護学選考大学院生	8/31	342,708
5	小宮 仁	在宅診療医の頻尿及び便秘に対する処方戦略が、患者のアウトカムにどのような影響を与えるか。 名古屋大学医学部附属病院地域連携・患者相談センター 病院講師	8/31	442,180
6	竹内 俊充	歯科訪問診療における診療情報提供書の提供文書の標準化研究 医療法人優寿会 本山歯科医院 理事長	8/31	1,000,000
7	竹田 雄馬	高齢者施設における終末期緩和ケアの状況と問題点に関するアンケート調査 国立がん研究センター中央病院 緩和医療科 レジデント	9/21	1,710,000
8	西原 みゆき	在宅重症心身障がい児者と家族介護者へ在宅医療・医療福祉サービスに求められる支援方策および方法に関する研究 日本福祉大学看護学部 教員	8/31	999,800
9	長谷 康子	訪問看護師がとらえる未告知の終末期高齢がん患者に生じる問題 徳島大学大学院保健科学教育部 看護師	8/31	242,000
10	平野 はるみ	閉じこもり高齢者の特徴-QOLの高い閉じこもり高齢者のQOLに関連する要因に着目して- 四日市看護医療大学大学院 大学院生	8/31	73,000
11	山本 泰忠	在宅要介護高齢者の精神心理機能と運動アドヒアランス(運動継続性)及び身体活動量の促進要因について-ランダム化 Acceptance and Commitment Therapy(ACP)介入比較試験 医療法人尚和会 宝塚リハビリテーション病院 一般職員	8/31	550,000
12	石村 珠美	未就学の医療的ケア児を育てる母親の包括的ケアに活かす「プロダクティブティ」特性 札幌保健医療大学 講師	8/31	450,000

No.	氏名	研究テーマ・所属	日付	助成金額
13	かたおか こうすけ 片岡 亨介	ウェアラブル端末を活用した在宅心臓リハビリテーションの安全性と有効性の確認	8/31	79,800
		医療法人ミナテラスかすがいクリニック マネージャー/理学療法士		
14	きはやし かずひこ 木林 和彦	高齢社会における家庭内での複数人死亡の解析と予防	8/31	1,000,000
		東京女子医科大学医学部法医学講座 教授		
15	ひご まさこ 肥後 雅子	在宅におけるせん妄発症者の睡眠状況の実態調査	8/31	884,000
		園田学園女子大学 大学教員		
16	ふくしま ひろこ 福島 紘子	小児と成人を診療している医療者間の死生観ギャップを知るための意識調査～よりよい在宅医療への移行を目指して	8/31	850,000
		筑波大学医学医療系小児科 講師		
17	まつざわ あけみ 松澤 明美	在宅で生活する病気・障がいのある子どもを育てる家族のソーシャル・キャピタルに関する研究	8/31	842,800
		茨城キリスト教大学看護学部看護学科 教授		
18	みつえ ひろえ 光江 弘恵	ソシオエステティック(傾聴を伴う美容ケア)の ICT 活用による QOL 維持向上の効果研究	8/31	581,096
		特定非営利活動法人ソシオキュアアンドケアサポート 理事		
19	やまぐち ひろゆき 山口 弘幸	精神障害者の在宅医療を支える家族への支援体制整備に関する調査研究	8/31	250,000
		鎮西学院大学現代社会学部社会福祉学科 教授		
20	あねざき さおり 姉崎 沙緒里	COVID-19 の感染拡大に伴う外出の機会の変化が、地域在住高齢者に与えた影響の検討	8/31	901,430
		東京大学大学院医学系研究科 健康科学・看護学専攻 高齢者在宅長期ケア看護学 博士課程学生		
21	きたたに ゆきひろ 北谷 幸寛	住み慣れた地域で最期までいきいきと暮らすためのACPニーズ調査	8/31	620,000
		富山大学学術研究部(医学) 成人看護学1 助教		
22	たきぐち さとみ 滝口 里美	訪問看護における発達障害児の家族支援の現状と課題	8/31	571,080
		県立広島大学保健福祉学部保健福祉学科看護学コース 教員		
23	たけだ ひろみち 武田 広道	要介護高齢者の意欲低下(アパシー)と在宅運動継続率の関係についての研究	8/31	400,000
		訪問看護ステーション リハステージ 理学療法士		
24	ますだ ゆみ 増田 由美	看護学生が地域に住む障害児・者とボランティア活動で交流する意義と課題	8/31	175,000
		四日市看護医療大学看護学部看護学科 教員		
25	まるはし たかあき 丸橋 孝昭	救命救急センターから始まる Advanced Care Planning と地域連携モデルにおける ICT 活用	8/31	800,000
		北里大学医学部救命救急医学 医師		
26	やまが しげる 山家 滋	孤立化する高齢者の支援体制づくり	8/31	800,000
		社会福祉法人 菅生会 理事長		
27	のぐち たいじ 野口 泰司	新型コロナウイルス感染症流行下における地域高齢者の社会参加機会の減少による健康影響	8/31	200,000
		国立研究開発法人国立長寿医療研究センター・老年社会科学研究部 研究員		

一般公募(前期)「在宅医療研究への助成」27件 18,998,814円

一般公募(後期)「在宅医療研究への助成」(34件):23,789,836 円/予算 23,000 千円

(単位:円)

No.	氏名	研究テーマ・所属	日付	助成金額
1	かわじり ひろゆき 河尻 拓之	在宅医療従事者が関わりうる法的問題の抽出 GP クリニック自由が丘 医師	3/25	500,000
2	はまたに やすひろ 濱谷 康弘	心不全患者に対する適切な緩和ケア提供体制の構築 国立病院機構 京都医療センター 医師	3/25	750,000
3	たちかわ なおこ 立川 尚子	訪問看護事業所におけるチームマネジメントとオンコール担当者の就 労継続意思の関連 - チームワーク強化によるストレス対処能力 (SOC)獲得に関する検討- 聖路加国際大学大学院 看護学研究科 後期博士課程 学生	3/25	362,660
4	あべ あきこ 阿部 晃子	在宅医療における終末期過活動せん妄の治療の実態と体系的薬物 療法の開発 国立がん研究センター中央病院 緩和医療科 医師(レジデント)	3/25	1,475,700
5	たかはし まみこ 高橋 真美子	リンパ浮腫治療の早期介入の大切さを伝えるために ～症状出現前から 相談できるリンパ浮腫 診療 をめざして 大曲リハビリテーションクリニック 看護師	3/25	830,000
6	と い ともこ 土井 智子	在宅高齢パーキンソン病患者の便秘症状と睡眠状況との関連を検 討する調査研究 名古屋学芸大学 看護学部 助手	3/25	793,840
7	みやした なおひろ 宮下 直洋	在宅医療における造血器腫瘍ターミナル期の予後予測ツールの開発 HOME CARE CLINIC N-CONCEPT 院長	3/25	445,000
8	すずき けいご 鈴木 啓吾	医療的ケア児の家族が抱える不安や悩みを軽減する総合情報ポータ ルサイトの開発 一般社団法人スベサポ 代表理事	3/25	1,800,000
9	たかはし あきひこ 高橋 昭彦	重度の障害児者の入浴サポート ～在宅で安全・安心にお風呂を 楽しむために～ ひばりクリニック 医師	3/25	1,200,000
10	いぐち たつや 井口 達也	OHATを使用した特別養護施設での口腔ケア・マネジメント 医療法人社団 千歯会 片貝デンタルクリニック 歯科医師	3/25	787,818
11	ぞうだ りょうこ 造田 亮子	在宅療養中の医療的ケア児の能動的発達を促す支援方法構築のた めの基礎調査 青森中央学院大学 看護学部 教員	3/25	268,540
12	やまもと あきこ 山本 明子	神経系難病患者・家族会の現状と課題 - 会員・非会員・運営それ ぞれの視点からの考察- 公立大学法人 青森県立保健大学看護学科 助教	3/25	324,600
13	いいた ともや 飯田 智哉	コロナ禍における在宅看取り～遺族アンケート調査の結果から～ 医療法人せせらぎ 札幌在宅クリニックそよ風 医師	3/25	298,100
14	たなか けい 田中 啓	在宅がん患者の疼痛管理におけるウェアラブルデバイスによるモニタ リングの有用性の検討 医療法人プラタナス 松原アーバンクリニック 医師	3/25	288,488
15	よう り 姚 利	ビデオカンファレンスを活用する在留中国人高齢者の老いへの準備教 育プログラムの実現可能性と有用性の検討 千葉大学大学院看護学研究科 大学院生	3/25	885,396
16	おざわ みわ 小澤 美和	福島県における看護職と介護職の看取りケア教育に関する研究 - 災害復興地の高齢者ケア施設における看取りケアの現状と課題- 医療創生大学看護学部看護学科 教授	3/25	760,240

No.	氏名	研究テーマ・所属	日付	助成金額
17	よしだ まこと 吉田 誠	水害時、在宅診療を受ける方の避難所生活における課題や必要な支援に関する研究 オレンジホームケアクリニック インターン	3/25	456,000
18	あおやなぎ みちこ 青柳 道子	訪問看護ステーションの管理者が新卒訪問看護師の訪問先を選定する判断プロセス 北海道大学大学院保健科学研究院 講師	3/25	547,000
19	きだな さわみ 木 棚 究	重度アルツハイマー型認知症に対する抗認知症薬使用の実態調査 東京大学大学院医学系研究科 在宅医療学講座 特任助教	3/25	520,000
20	つるおか ゆうこ 鶴岡 優子	「往診かばん」から在宅医療を考える～時代は靴と価値観を変えたのか？ つるかめ診療所 医師	3/25	930,000
21	ながえ まさあき 長永 真明	在宅医療におけるADL変化に影響を与える因子の検討 名古屋大学大学院医学系研究科 地域在宅医療学・老年科学 医員	3/25	750,000
22	はまた しやうた 浜田 将太	在宅療養高齢がん患者の終末期の薬剤処方実態 医療経済研究機構 研究部 主席研究員	3/25	400,000
23	ささき けいた 佐々木 啓太	退院指導の質評価尺度(The Quality of Discharge Teaching Scale : QDTS) 日本語版の作成と評価 筑波大学 大学院 大学院生	3/25	835,000
24	ごとう まさこ 後藤 雅子	在宅での重症心身障がい児にかかわる訪問看護師のリソースに関する研究 - 訪問看護師の成長過程を支えるプログラム構築に向けた調査 - 公立大学法人 神奈川県立保健福祉大学 看護教員	3/25	395,884
25	さとむら いくえ 里村 生英	在宅ホスピスにおけるスピリチュアルケアの一環としての「ハーブ訪問」に関する研究 - 訪問看護師との連携構築と、患者家族への実施効果と課題の分析 - ハーブ訪問をすすめる会 ハーブ奏者	3/25	577,850
26	ごうはら しほ 郷原 志保	地域在住高齢者におけるAdvance care planning の行動変容プロセスの検証および各段階における促進要因と阻害要因の検討 大東文化大学 スポーツ・健康科学部看護学科 特任助手	3/25	827,400
27	なかむら ゆきお 中村 幸生	「困難な事例」に対応できる人材育成プログラムの開発 優幸会 中村クリニック 理事長	3/25	654,000
28	もりき ゆき 森木 友紀	在宅高齢介護家族・障がい者によりそう障がい者福祉事業所職員のアドバンス・ケア・プランニング(ACP) 大阪大学大学院医学系研究科保健学専攻博士後期課程 看護師	3/25	876,600
29	わたなべ くみ 渡邊 久美	保育園における看護師の医療的ケア児に関する感染症対策 和洋女子大学看護学部看護学科 助教	3/25	440,000
30	おおつか りか 大塚 理加	分譲マンションにおける在宅療養者への支援に関する調査研究 国立研究開発法人防災科学技術研究所 研究員	3/25	1,000,000
31	しゅう ろ 周 璐	介護老人保健施設に入所中の高齢者の夜間睡眠状況と排泄ケア方法の関連 千葉大学大学院看護学研究科 学生(博士後期課程)	3/25	299,320
32	ねよし ちえみ 子吉 知恵美	独居後期高齢者の互助の実際と互助につながる高齢者の生活意欲の検討 - 地域における保健室の実践 - 金城大学 講師	3/25	828,400

No.	氏名	研究テーマ・所属	日付	助成金額
33	やすい なぎさ 安井 渚	子育て世代親子と終末期患者のアドバンスケアプランニング(ACP)に基づく対話の支援構築	3/25	852,000
		森ノ宮医療大学 看護学科 講師		
34	てるい れな 照井 レナ	訪問看護ステーションの経営品質と個人と組織の能力向上に関する研究	3/25	830,000
		小樽商科大学 大学院 現代商学攻 博士課程 学生		

一般公募(後期)「在宅医療研究への助成」34件 23,789,836円

一般公募(前期)「在宅医療研究への助成(論文枠)」(7件):15,183,776円(2年間)/予算12,000千円

(単位:円)

No.	氏名	研究テーマ・所属	日付	助成金額
1	おおにし こうへい 大西 耕平	中規模市における要支援高齢者のフレイル有病率と介護予防サービス導入後の状態像の変化	8/31	1,136,200
		大田原市中央地域包括支援センター		
2	はまさか しゅういち 濱坂 秀一	人工呼吸器装着児に対する学校看護師と臨床工学技士のチーム医療連携の効果	8/31	951,000
		独立行政法人国立病院機構医王病院		
3	おかもと きょうこ 岡本 響子	訪問看護師の体験に基づく『8050問題』と課題抽出による支援策の提案	8/31	2,292,040
		天理医療大学医療学部看護学科		
4	くぼ きょうこ 久保 恭子	在宅で生活する重症心身障がい児(者)の親亡き後の居場所・生活支援の移行とシームレスな自立支援モデルの検討	8/31	3,802,536
		東京医療保健大学 立川看護学部		
5	すみかわ ひろゆき 澄川 裕之	無歯科医地区などを含む過疎地域における「訪問歯科診療」の安定供給に関する調査	8/31	2,752,000
		医療法人里山会 澄川歯科医院/匹見歯科診療所		
6	ひよし かずこ 日吉 和子	「お迎え現象」の実態と看取りケア時に望むこと	8/31	3,250,000
		大和大学		
7	やすはら ともひさ 安原 智久	中規模医療圏における在宅医療の実情調査と医療リソースとしての薬局・薬剤師の活用に関する研究	8/31	1,000,000
		和歌山県立医科大学薬学部		

一般公募(前期)「在宅医療研究への助成(論文枠)」7件 15,183,776円

指定公募「入院医療から在宅医療移行期における多職種連携もよる円滑な退院支援システム等構築のための研究」(5件):7,335,000円/予算5,000千円 (単位:円)

No	氏名	研究テーマ・所属	日付	助成金額
1	おおこうち まさゆき 大河内 真之	クラウドを利用した包括的褥瘡支援システムの構築 ～入院施設と在宅との架け橋のシステム～ 帝京大学医学部形成外科 病院教授	8/31	269,000
2	すーでい かんさき スーディ 神崎 かずよ 和代	災害被災地域における入院医療から在宅療養への円滑な移行を可能にするガイドライン作成と検証 医療創生大学 教授	8/31	538,000
3	みやざわ ゆき 三代 澤 幸 ひで 秀	多職種相互理解により医療的ケア児等の退院支援・地域移行を円滑にするための人材育成シリアスゲームの開発 信州大学医学部小児医学教室 助教	8/31	1,513,000
4	わだ たけこ 和田 丈子	医療的ケア児の円滑な在宅移行に向けてのケア方法の説明ツールづくり 株式会社メイ・コネクト訪問看護ステーション虹とり 看護師	8/31	215,000
5	日本在宅ケア アライアンス	入院在宅移行のための多職種による連携モデル構築の研究 一般社団法人 日本在宅ケアアライアンス	8/31	4,800,000

指定公募「入院医療から在宅医療移行期における多職種連携による円滑な退院支援システム等構築のための研究」
5件 7,335,000円

指定公募「在宅医療における食支援のための研究」5件 : 7,401,750円/予算5,000千円 (単位:円)

No.	氏名	研究テーマ・所属	日付	助成金額
1	たなか のぶかず 田中 信和	重症心身障害児者における嚥下頻度を指標とした嚥下機能の廃用予防法の確立 大阪大学歯学部附属病院 助教	8/31	426,000
2	あらいえ たかふみ 新家 敬史	「食支援の多面性」に対する「食支援ガイドブック」を用いた包括的なアプローチシステムの構築 医療法人社団オレンジ オレンジホームケアクリニック 歯科医師	8/31	900,000
3	うしむら はるな 牛村 春奈	介護予防・生活支援事業対象者の咀嚼機能と摂取栄養素、栄養状態に関する研究 石川県立看護大学 教員	8/31	515,750
4	にしやま こういちろう 西山 耕一郎	フレイル高齢者に対する嚥下内視鏡検査を用いた嚥下機能評価と指導効果の検証 医療法人社団 西山耳鼻咽喉科医院 理事長	8/31	760,000
5	日本在宅ケア アライアンス	食支援を軸とした多職種連携モデル構築の研究 一般社団法人 日本在宅ケアアライアンス	8/31	4,800,000

指定公募「在宅医療における食支援のための研究」5件 7,401,750円

指定公募「在宅医療推進の中で、在宅医療者を支える介護職の専門性にかかる研究」1件 :3,400,000円 /予算5,000千円 (単位:円)

No.	氏名	研究テーマ・所属	日付	助成金額
1	日本在宅ケア アライアンス	在宅医療における介護職の専門性についての基礎的研究 一般社団法人 日本在宅ケアアライアンス	8/31	3,400,000

指定公募「在宅医療推進の中で、在宅医療者を支える介護職の専門性にかかる研究」1件 3,400,000円

指定公募「在宅医療の質に関する研究」4件：4,429,250 円/予算5,000千円

(単位:円)

No.	氏名	研究テーマ・所属	日付	助成金額
1	いしい ようすけ 石井 洋介	在宅医療の質指標 QI-8(Quality Indicator-8)の開発と多職種による介入がQI-8に及ぼす影響の検討 おうちの診療所 目黒 医師	8/31	518,850
2	さげ かなこ 佐瀬 加奈子	在宅高齢者のエンドオブライフケアにおけるリハビリテーションの意義と役割 —理学療法士による支援に関する質的研究を通して— 河北訪問看護・リハビリステーション 理学療法士	8/31	100,000
3	にしいけ えいこ 西池 絵衣子	精神科訪問看護における「その人らしい」看護のあり方 —訪問看護師と利用者のライフストーリーインタビューから— 兵庫県立大学看護学部 講師	8/31	810,400
4	日本在宅ケア アライアンス	在宅医療の質についての基礎的研究 一般社団法人 日本在宅ケアアライアンス	8/31	3,000,000

指定公募「在宅医療の質に関する研究」4件 4,429,250 円

指定公募「課題解決型実証研究(論文枠)」3件:12,000,000 円/予算 12,000 千円

① 在宅医療における訪問服薬指導体制の普及強化に向けた研究

(単位:円)

No.	氏名	研究テーマ・所属	日付	助成金額
1	かめい みわこ 亀井 美和子	在宅医療における訪問服薬指導体制の普及強化に向けた研究 帝京平成大学薬学部 (公社)日本薬剤師会 教授 薬学部長 常務理事	8/31	4,000,000

② 人生の最終段階を含めた虚弱高齢者に対する食支援の在り方に関する研究

(単位:円)

No.	氏名	研究テーマ・所属	日付	助成金額
1	まえだ かよこ 前田 佳予子	人生の最終段階を含めた虚弱高齢者に対する食支援の在り方に関する研究 (一社)日本在宅栄養管理学会 理事長	8/31	4,000,000

③ 在宅医療を実践する診療所における地域コーディネーター(MSW 等)の資質向上を図るための研究

(単位:円)

No.	氏名	研究テーマ・所属	日付	助成金額
1	はやさか ゆみこ 早坂 由美子	在宅医療を実践する診療所における地域コーディネーター(MSW 等)の資質向上を図るための研究 公益社団法人 日本医療ソーシャルワーカー協会 会長	8/31	4,000,000

指定公募「課題解決型実証研究(論文枠)」3件 12,000,000 円

指定公募(前期)「在宅医療における感染症対策に関する調査研究」2件:1,050,000 円/予算 3,000 千円

(単位:円)

No.	氏名	研究テーマ・所属	日付	助成金額
1	すみかわ ゆか 角川 由香	新型コロナウイルス感染症(COVID-19)禍における移行期支援の課題 と新たな取り組みの明確化: 急性期医療から在宅療養への移行期 に焦点をあてて 東京大学大学院医学系研究科 助教	8/31	580,000
2	なかざわ たかよ 中澤 貴代	コロナ禍における産科施設退院後のアプリを活用した育児支援 北海道大学病院 4-1 ナースステーション 助産師	8/31	470,000

指定公募(前期)「在宅医療における感染症対策に関する調査研究」2件 1,050,000 円

指定公募(後期)「在宅医療における感染症対策に関する調査研究」1件:854,320 円/予算 3,000 千円

(単位:円)

No.	氏名	研究テーマ・所属	日付	助成金額
1	ながい みなみ 永井 みなみ	新型コロナウイルス感染症の流行による、前期高齢者のフレイル予防 行動の変化とその関連要因 名古屋市立大学看護学研究科 保健師	3/25	854,320

指定公募(後期)「在宅医療における感染症対策に関する調査研究」1件 854,320 円

研究成果物評価委員会(勇美賞0件/予算 1,500 千円)

(単位:円)

No.	氏名	研究テーマ・所属	共通経費 配賦前事業費
		2019 年度一般公募の優秀な成果物の助成対象として勇美賞の贈呈を計画したが、2019 年度がコロナ禍で計画通り完了できない公募もあり、結果、一部助成公募の期限を延長して、次年度(2022 年度)に 2019 年度と 2020 年度の勇美賞を審査することとした。	0

2020年度一般公募「在宅医療研究への助成」(論文枠)6件 : 2021年度助成(2年目)4,960,000円

論文枠2年助成で 2021年度(2年目)助成と2020年~2021年度(2年総金額)

(単位:円)

No.	氏名	研究テーマ・所属	日付	助成金額
1	垣内 康宏 かきうち やすひろ	大阪府及び神奈川県における在宅死亡割合と在宅医療に関する医療社会的指標の地域相関分析 近畿大学 医学部 法医学教室 准教授	8/31	500,000 (1,000,000)
2	篠原 真純 しのはら ますみ	在宅療養する高齢者へ訪問看護師が行うアドバンス・ケア・プランニングが家族の安心感に与える影響:混合研究 東京大学大学院 医学系研究科 健康科学・看護学専攻 高齢者在宅長期ケア看護学専攻 大学院生(修士)	8/31	100,000 (953,414)
3	山下 遼 しまやま りょう	在宅医療を受ける終末期がん患者本人へのEnd-of-life care discussion(終末期の話し合い)実施に関する観察研究 わたクリニック/国立がん研究センター中央病院 医師	8/31	940,000 (1,447,000)
4	中野 英樹 なかの ひでき	地域在住フレイル高齢者における身体・精神心理機能の関連性解明 京都橘大学 健康科学部 准教授	8/31	1,050,000 (1,850,000)
5	松繁 拓哉 まつしげ たくや	VSED(終末期における自発的飲食中止:voluntary stopping eating and drinking)の倫理的課題に関する研究 国立保健医療科学院 医療・福祉サービス研究 主任研修官/厚生労働技官	9/8	440,000 (740,000)
6	山本 由子 やまもと ゆうこ	在宅療養者と多職種の視点を活かした我が国の在宅療養におけるQOL(Quality of Life)に関するパイロット研究 東京医療保健大学 准教授	8/31	1,930,000 (3,610,000)

一般公募「在宅医療研究への助成」(論文枠)6件 2021年度 4,960,000円

(2年間総額 9,600,414円)

＜公益目的事業2＞

「在宅医療等に関する人材養成のための研修及びセミナー等の事業への助成」

(40,560,885 円 : 82 件)

指定公募(前期)「市民の集い開催への助成」11件 : 3,294,911 円/予算 4,500 千円

(単位:円)

No.	氏名	開催テーマ・所属	地区	日付	助成金額
1	伊世利子	地域で連携暮らしの保健室&コミュニティカフェ 一般社団法人あした葉 理事	三重県	8/31	300,000
2	市橋梨加	コロナ禍における在宅医療の必要性についての講演会 NPO 思葉会 正会員	兵庫県	8/31	300,000
3	小嶋一郎	集って・学んで・楽しんで～口から始めるフレイル予防の倶楽部活動～ 訪問歯科・食介護 おくちのケアステーション カナリア 院長/歯科医師	兵庫県	8/31	300,000
4	川越博美	我がまち、我が家で最期まで －市民がともに担う在宅ケアをめざして－ 特定非営利活動法人在宅ホスピスボランティアきぼう 代表理事	山梨県	8/31	300,000
5	柴田久美子	映画「みどり」上映映画祭 榎木孝明・嶋田豪・柴田久美子 鼎談「あなたは誰に、看取られたいですか？」 一般社団法人日本看取り士会 代表理事	オンライン	8/31	300,000
6	高砂裕子	市民公開講座 「新たな生活様式におけるACP(アドバンス・ケア・プランニング)を考える」 一般社団法人 日本ケアマネジメント学会 理事	神奈川県	8/31	300,000
7	高橋耕一	在宅医療の現状と今後への理解を深める 医療法人社団秀和会 つがやす歯科医院 歯科医師	北海道	8/31	300,000
8	轟浩美	ACP(人生会議)とはなんなのか～人生会議ポスター騒動からみえる論点～ 認定NPO法人 希望の会 理事長	オンライン	8/31	295,000
9	中村亜季子	自分の人生を生ききる －私と家族と友人と－ ケアプランセンター 出会い茶屋の原 管理者	福岡県	8/31	300,000
10	藤井由香	フランス料理の世界大会のアジア代表、高山英紀シェフが作る、とろみ剤を使用しない生きるための嚥下スープ 中庄本店 栄養ケア・ステーション 管理栄養士	オンライン	8/31	299,911
11	吉田孝司	かがみいし地域包括ケア研究会第80回記念事業 映画「ピア～まちをつなぐもの～」特別上映会 かがみいし地域包括ケア研究会 会長兼地域包括ケア推進本部長	福島県	8/31	300,000

指定公募(前期)「市民の集い開催への助成」11件 3,294,911 円

指定公募(後期)「市民の集い開催への助成」16件：4,743,254円/予算4,500千円

(単位:円)

No.	氏名	開催テーマ・所属	地区	日付	助成金額
1	いしい ひでこ 石井 秀子	在宅ケアの推進『食べる事』～食の自立に向けて～ NPO 法人地域食生活研究会 機能強化型認定栄養 ケア・ステーション地食研 理事長	群馬県	3/25	300,000
2	いのうえ みほ 井上 実穂	「みんな、元気になあれ！ ～親が病気の子どもたちの 集い～」(仮) 国立病院機構 四国がんセンター 心理療法師	東京 又は Web	3/25	300,000
3	おかやま ようこ 岡山 容子	(仮)社会福祉法人佛子園のとどろき～人をつなぐ。地 域をつなぐ。 医)みのり会おかやま在宅クリニック 院長	京都府	3/25	300,000
4	しばもと みさよ 柴本 美佐代	在宅介護 始まりから ACP まで 一般社団法人日本エルダーライフ協会 代表理事	大阪府	3/25	300,000
5	すずき しゅんぞう 鈴木 俊三	人生の今までとこれからを考える市民の集い～「未来ノ ート」の活用に向けてメッセージ～ 常陸大宮市南部地域包括支援センター 管理者	茨城県	3/25	300,000
6	たかはし こういち 高橋 浩一	・「夕映え あとさき」～コロナ禍で考えた、人生の終盤 期で大切なこと～ ・100まで生きる覚悟 ～自宅で自分らしく生きるために～ 医療法人和平会 折口医院 院長 医師	広島県	3/25	300,000
7	たぶち はるみ 田淵 晴美	「最期の時まで自分らしく生きるために」～家で過ごす ためにみんなで繋ぐ在宅医療とは～ ホスピタリティ晴 RUYA 代表	鹿児島県	3/25	300,000
8	たべた ひでゆき 田部 田 英之	外来診察からイベントの通じて、在宅医療を彩りのあるものへ 西東京ペインクリニック 医師	東京都	3/25	298,174
9	てらだ みえこ 寺田 美恵子	在宅医療を、もっと身近に 特定非営利活動法人 福祉亭 理事長	東京都	3/25	300,000
10	どい よしやすし 土居 良康	在宅での介護と看取り(仮) 公益社団法人船橋地域福祉・介護・医療推進機構 理事	千葉県	3/25	300,000
11	とおよ じゅんいちろう 遠矢 純一郎	在宅医療・ACP を推進するための市民啓発 講座(仮) 医療法人社団ブラタナス桜新町アーバンクリニック 院長	東京都	3/25	300,000
12	ながさわ しげる 長澤 茂	地域共生社会における在宅医療と ACP(仮称) 医療法人 三秋会 理事長	岩手県	3/25	295,000
13	にのみや やすのり 二宮 保典	できることから始めてみよう、みんなの力で「地域の教 育力を育てる」 各務原市ふるさと福祉村 会長	岐阜県	3/25	300,000
14	ひらはら さとし 平原 佐斗司	企画1「暮らしの中の看取り」、企画2「老いここ ろ」、企画3「日本人の死生観」 東京ふれあい医療生活協同組合 梶原診療所 研修・研究センター長	東京都	3/25	300,000
15	むらた まき 村田 真紀	在宅医療・介護を考える北空知地域住民フォーラム 北空知地域医療介護連携支援センター 事務局長	北海道	3/25	250,080
16	わた ともひと 和田 智仁	すべての方が、家族と一緒に外食を楽しめる社会へ 京滋摂食嚥下を考える会 代表	京都府	3/25	300,000

指定公募(後期)「市民の集い開催への助成」16件 4,743,254円

指定公募(前期)「在宅医療推進のための多職種連携研修会への助成」10件:4,719,18円/予算5,000千円

(単位:円)

No.	氏名	開催テーマ・地区	地区	日付	助成金額
1	あらき 俊介 荒木 俊介	医療的ケア児の可能性を支える研修会 ～遊ぶ・食べる・学ぶ～ 産業医科大学 小児科 医師	オンライン +福岡県	8/31	500,000
2	えんどう 貴士 遠藤 貴士	郡山 ACP プロバイダー養成コース ～ナラティブアプローチなくして、ACPはなし～ 医療法人モミの木会 モミの木クリニック 医師	オンライン	8/31	450,000
3	おだ ゆみこ 尾田 優美子	1.地域で暮らす精神障害のある方を「チームで支える」支援のために一顔が見え、役割がわかる関係づくりをしよう! 2.精神障害のある方の支援に大切な”みため”を学び、深めよう 社会福祉法人聖隷福祉事業団 訪問看護ステーション 細江 看護師・所長	静岡県	8/31	500,000
4	きむら たくじ 木村 卓二	地域に必要なものは地域で学ぶ、みんなで地域を幸せにする在宅ケアのオンラインスクール オリーブ在宅クリニック 医師	オンライン	8/31	489,180
5	にしなり しのぶ 西成 忍	在宅医療推進のための多職種連携研修会 在宅医療普及のための住民向け講習会 横手市医師会 会長/医師	秋田県	8/31	500,000
6	さいとう ひでゆき 斎藤 秀之	訪問看護ステーションのあり方研修:多職種協働による効果や成果 公益社団法人 日本理学療法士協会 会長/理学療法士	オンライン	8/31	500,000
7	ばん まさみ 伴 正海	手帳を使用した多職種連携を検討する会:日本うんこ学会 会長直伝!排泄ケア入門 うちの診療所 目黒 院長	東京都	8/31	500,000
8	よこた じろう 横田 治郎	北区地域包括ケア推進総括協議会 第3回総会 ～新型コロナウイルス禍での在宅医療推進のための多職種連携の在り方について～ 北区地域包括ケア推進総括協議会 会長	兵庫県	8/31	500,000
9	わたなべ せいじ 渡邊 誠司	第46回 静岡県小児保健学会 社会福祉法人 恩賜財団 済生会 伊豆医療福祉センター 施設長	オンライン +静岡県	8/31	280,000

指定公募(前期)「在宅医療推進のための多職種連携研修会への助成」9件 4,219,180円

指定公募「在宅医療推進のための多職種連携研修会への助成(2020後期承認/2021助成)」(単位:円)

No.	団体名	開催テーマ・所属	地区	日付	助成金額
1	ながの ひろあき 長野 宏昭	第3回エンドオブライフケア援助者養成基礎講座 ※2020年(後期)に申込あり、審査・承認済みも沖縄のコロナ拡大で年度内に決まらず、4月に再申請。 2021年4月助成したため、2021年度(前期)に計上。 沖縄県立中部病院 呼吸器内科/地域ケア科医長、 エンドオブライフケア(ELC)沖縄	オンライン	4/27	500,000

指定公募「在宅医療推進のための多職種連携研修会への助成(2021前期)」1件 500,000円

指定公募(後期)「在宅医療推進のための多職種連携研修会への助成」14件:6,057,000円/予算5,000千円

(単位:円)

No.	氏名	開催テーマ・地区	地区	日付	助成金額
1	いちほし 市橋 亮一	東海地区 大学医学部地域医療学教員向け研修 多 職種学生向けワークショップ「ごちゃまぜIPE」& 行為流会 医療法人かがやき 理事長	岐阜県 愛知県	3/25	485,000
2	うちだ 内田 和宏	全世代型地域包括ケアシステムへの医療・看護・介護・福祉か らのアプローチ ～多職種連携と住民主体活動をつなぐ在宅医 療の推進に向けて～ 特定非営利活動法人高齢者を支える学際的チームアプ ローチ推進ネットワーク 事務員	埼玉県	3/25	500,000
3	おおた 太田 秀一	北海道における血液疾患患者の在宅生活と医療を考える 会 ～広い大地で「輸血」とどう向き合っていくか～ 社会医療法人北楡会札幌北楡病院診療部 血液内科 診療部長	北海道 +オンライ ン	3/25	500,000
4	たかむら 高村 好実	第6回南予圏域在宅医療介護多職種連携研修会 市立宇和島病院・臨床検査科 臨床検査技師	愛媛県	3/25	500,000
5	たんない 丹内 まゆみ	自分のことを自分で決めるのは案外難しい。聴いて、話し て、考える。～自己決定を支援する対話のスキルを知り、 みんなで体験してみよう～ 株式会社みゆうちゅある ikiなまちかど保健室みゆうちゅある 代表	東京都 +オンライ ン	3/25	254,500
6	なかむら 中村 千賀	VR 認知症体験をとおして、認知症フレンドリー社会につい て考える やさしいそら訪問看護ステーション 看護師	大阪府	3/25	500,000
7	にん 任 洋輝	多職種連携セミナー(仮) 医療法人社団杏生会文京根津クリニック 医師	東京都	3/25	500,000
8	はすお 蓮尾 久美	「私らしい暮らしを最期までここで続けたい」地域住民と共 に考える、市民参加型 多職種連携研修会 ～それぞれ が出来ることを知り、備えよう 一般社団法人らふ、代表理事	大阪府	3/25	500,000
9	ふじもと 藤本 啓子	在宅医療における多職種連携研修会～哲学対話(ソクラテッ ク・ダイアログ)を通して在宅での医療・介護を考える～ ウェル・リビングを考える会 代表	兵庫県	3/25	244,000
10	ほりえ 堀江 さより	地域に根付いた在宅医療のための他職種連携の仕組み BIG TREE.荻窪クリニック	東京都	3/25	500,000
11	まさな 正名 富士子	顔の見える小さな会 医療法人優幸会 中村クリニック ソーシャルワーカー	大阪府 又はZoom	3/25	387,100
12	まにわ 間庭 たつや 達也	地域における在宅生活支援の為の多職種連携研修会 有限会社高村 輝ららのさんぽ道 管理者	島根県	3/25	186,400
13	むらた 村田 まき 真紀	地域包括ケアに携わる多職種合同研修会「ケア・カフェ」 北空知地域医療介護連携支援センター 事務局長	北海道 又はZoom	3/25	500,000
14	やまだ 山田 富恵	地域でつながる「いきいき活動★東陽」 日本財団在宅看護センターアイルビー訪問看護ステーショ ン 看護師管理者	東京都 又はZoom	3/25	500,000

指定公募(後期)「在宅医療推進のための多職種連携研修会への助成」14件 6,057,000円

指定公募(前期)「在宅医療推進のための学会等への共催」16件:9,253,340円/予算5,000千円(単位:円)

No.	学会名	開催テーマ・所属	共催	日付	助成金額
1	NPO 在宅ケアを支える診療所・市民全国ネットワーク	NPO 在宅ケアを支える診療所・市民全国ネットワーク 第26回全国の集い in 長崎おおむら2020 石田 賢二 さくらクリニック 院長	全体	8/31	1,000,000
2	日本家族看護学会	日本家族看護学会 第28回学術集会 テーマ:勇気をもって新たな知の冒険へ 山本 則子 東京大学大学院 教授	一部	8/31	300,000
3	日本緩和医療学会 第3回関東・甲信越 支部学術大会	緩和ケアを支える エビデンス、ナラティブ、そしてケア リング 坂井 さゆり 新潟大学大学院保健学研究科医学 部保健学科 教授	全体	8/31	300,000
4	日本ケアマネジメント 学会	日本ケアマネジメント学会 第21回研究大会多様 性の社会の実現に向けたケアマネジメントの真価 高砂 裕子 一般社団法人 日本ケアマネジメント 学会 理事	全体	8/31	1,000,000
5	日本呼吸ケア・リハビリテ ーション学会 甲信越支部	特別シンポジウム:みんなで支える呼吸ケア診療につ いて ～多職種チームで支える入院から在宅医療 ～ 菊地 利明 新潟大学 呼吸器・感染症内科 教 授・医師	一部	8/31	300,000
6	日本口腔ケア学会	第19回日本口腔ケア学会 総会・学術大会 シン ポジウム:在宅医療における介護福祉士による口腔 ケアの重要性 植野 高章 大阪医科大学 口腔外科学教 授室 教授	一部	8/31	363,340
7	日本公衆衛生 看護学会	第10回日本公衆衛生看護学会学術集会10周年 記念大会(第6回国際保健師ネットワーク学術集会と 合同開催) 岡本 玲子 大阪大学大学院医学系研究科 保健 学専攻 教授	一部	8/31	500,000
8	日本在宅看護学会	第11回学術集会『危機の時代における在宅看護 の覚悟と挑戦』 結城 美智子 北海道大学 大学院保健科学研 究院 教授	全体	8/31	500,000
9	日本在宅ケア学会	第27回日本在宅ケア学会学術集会 テーマ「ひと の生(life)を支える在宅ケア・在宅リハビリテーション」 下田 信明 東京家政大学・リハビリテーション学科 教授	全体	9/18	1,000,000
10	日本在宅ホスピス協会	第24回 日本在宅ホスピス協会 全国大会(ハイブ リッド開催) 安部 能成 日本在宅ホスピス協会 全国大会 オ ンライン・ハイブリッド 大会長	全体	8/31	1,000,000
11	日本小児在宅医療 支援研究会	重症児が地域で生活するために医療を支える、生活 を支える、つなぐ 水野 美穂子 社会医療法人宏潤会 医師	全体	8/31	1,000,000
12	日本慢性看護学会	生～死により慢性看護 谷本 真理子 東京医療保健大学・医療保健学 部・看護学科 教授	全体	8/31	500,000

No.	学会名	開催テーマ・所属	共催	日付	助成金額
13	日本リハビリテーション 栄養学会学術集会	第11回日本リハビリテーション栄養学会学術集会 「あなたの出番がいつにきた」	全体	8/31	300,000
		前田 圭介 国立長寿医療研究センター 老年内科 医長			
14	日本ルーラルナースィング 学会	日本ルーラルナースィング学会第16回学術集会 東京から発信	全体	8/31	500,000
		—中山間医療過疎地・島嶼で織りなされる Care— 中村 美鈴 東京慈恵会医科大学 教授			
15	文化看護学会 学術集会	第14回文化看護学会学術集会 メインテーマ 「ふれあう」文化と看護 のうち教育講演・シンポジウム(市民公開プログラム)	一部	8/31	300,000
		永井 優子 自治医科大学看護学部 教授			
16	リハビリテーション・ケア 合同研究大会兵庫 2021	リハビリテーション・ケア合同研究大会兵庫 2021 テーマ:Let's integrate! ～リハビリテーションの心技体～	全体	8/31	390,000
		大串 幹 兵庫県立リハビリテーション中央病院 医師(院長補佐)			

指定公募(前期)「在宅医療推進のための学会等への共催」16件 9,253,340円

指定公募(後期)「在宅医療推進のための学会等への共催」13件:8,000,000円/予算5,000千円

(単位:円)

No.	学会名	開催テーマ・所属	共催	日付	助成金額
1	NPO 地域共生を支える 医療・介護・市民全国 ネットワーク	地域共生を支える医療・介護・市民全国ネットワーク 第1回全国のつどい in shonan hiratsuka 2022 「地域共生社会はみんなで支える。誰もが安心して暮らせるまちをつくる。」	全体	3/25	500,000
		内門 大丈 メモリーケアクリニック湘南 院長※ (2022/4月開院予定)現在:いなほクリニックグループ 医療法人社団みのり会 湘南いなほクリニック 院長			
2	日本家族看護学会	日本家族看護学会 第29回学術集会 家族の の語りを紡ぐ～現場発信の家族看護～	全体	3/25	500,000
		濱田 裕子 第一薬科大学看護学部 教授			
3	日本高齢者虐待防止 学会	高齢者虐待 多様化した要因と課題～ポストコロナ 時代に変革の方向性を考える	全体	3/25	500,000
		吉岡 幸子 帝京科学大学 医療科学部 教授			
4	日本在宅栄養管理学会	第9回日本在宅栄養管理学会学術集会 在宅 栄養ケアを地域へ拡充しよう ～地域の保健・医療・福 祉から栄養ケア・ステーションへつなぐ	全体	3/25	1,000,000
		真井 睦子 日本赤十字社 栗山赤十字病院 栄 養課 係長			
5	日本在宅看護学会	在宅看護のサステナビリティ	全体	3/25	800,000
		川添 高志 ケアプロ株式会社 代表取締役			
6	日本在宅薬学会	第15回日本在宅薬学会学術大会 Pharmacists	全体	3/25	1,000,000
		狭間研至 一般社団法人日本在宅薬学会理事長			

No.	学会名	開催テーマ・所属	共催	日付	助成金額
7	日本地域看護学会	一般社団法人日本地域看護学会第25回学術集会「地域生活者の健康と存在を護る地域看護のプロフェッション」-当事者・家族が普通に生活できる暮らしの場づくり- 田村 須賀子 富山大学学術研究部医学系教授	全体	3/25	800,000
8	日本統合医療学会	第26回日本統合医療学会学術大会「セルフケアと統合医療:With/After コロナの時代に考える」 岡 美智代 群馬大学大学院保健学研究科教授	全体	3/25	300,000
9	日本難病看護学会	第27回日本難病看護学会学術集会「難病看護のやりがい未来につなぐ」 原 三紀子 東邦大学看護学部 教授	一部	3/25	500,000
10	日本ホスピス・在宅ケア研究会	第29回日本ホスピス・在宅ケア研究会全国大会 in 奈良「今、ここからはじめる～あおによし奈良の都から織りなすいのちの言霊(メッセージ)～」 久保田 千代美 Chiyomi Kubota Care 研究所 代表	全体	3/25	1,000,000
11	日本看取り学会	在宅医療推進のための「日本の看取りを考える全国フォーラム」への共催 渡部 俊弘 日本看取り学会 会長	全体	3/25	300,000
12	日本輸血細胞治療学会	第29回日本輸血細胞治療学会秋季シンポジウム:革新が求められる輸血医療 共催対象:在宅輸血セミナー 藤田 浩 東京都立墨東病院 輸血科 部長	一部	3/25	300,000
13	日本ルーラルナーシング学会	日本ルーラルナーシング学会第17回学術集会へき地の人々の暮らしをつなぐ地域包括ケア 河口 朝子 長崎県立大学シーボルト校 教授	全体	3/25	500,000

指定公募(後期)「在宅医療推進のための学会等への共催」13件 8,000,000円

指定公募「在宅医療推進に寄与するモデル的な研修プログラム構築のための助成」1件:4,000,000円

/予算5,000千円

(単位:円)

No.	団体名	開催テーマ・所属	地区	日付	助成金額
1	みうら ひさゆき 三浦 久幸	全国を視野においた病院医師、臨床研修医、かかりつけ医を中心とした在宅医療に関するモデル的な研修 国立研究開発法人国立長寿医療研究センター 在宅医療・地域医療連携推進部長	オンライン	8/31	4,000,000

指定公募「在宅医療推進に寄与するモデル的な研修会への助成」1件 4,000,000円

指定公募(後期)「在宅医療推進に寄与するモデル的な研修プログラム構築のための助成」0件:0円

/予算5,000千円

(単位:円)

No.	氏名・団体名	開催テーマ・所属	地区	日付	助成金額
1	申請なし				0

指定公募(後期)「在宅医療推進に寄与するモデル的な研修会への助成」0件 0円

指定公募「在宅医療における感染症対策の教育および啓蒙等への助成」1件 :493,200円/予算5,000千円

(単位:円)

No.	氏名	開催テーマ・所属	地区	日付	助成金額
1	まつなが さなえ 松永 早苗	在宅医療を担うケアワーカーの新興・再興感染症ヘルスリテラシーを向上させるための取り組み 神奈川県立保健福祉大学実践教育センター 課長・准教授	宮城県	8/31	493,200

指定公募「在宅医療における感染症対策の教育および啓蒙等への助成」1件 493,200円

指定公募(後期)「在宅医療における感染症対策の教育および啓蒙等への助成」0件:0円/予算5,000千円

(単位:円)

No.	氏名	開催テーマ・所属	地区	日付	助成金額
1	申請なし				

指定公募(後期)「在宅医療における感染症対策の教育および啓蒙等への助成」0件 0円

＜公益目的事業3＞

テキスト等、在宅医療等に関する情報収集及び普及啓発事業の実施

(62,506,401 円)

自主事業(8件)

(単位:円)

No.	事業内容	共通経費 配賦前事業費
1	<p>第17回在宅医療推進フォーラム</p> <p>目的：在宅医療にかかわる諸団体が一同に会し、これからの在宅医療の将来を考える場として、11月23日(祝)に第17回在宅医療推進フォーラムを開催した。</p> <p>開催テーマ:With コロナ、今こそ、在宅！底力！</p> <p>開催日時：2021年11月23日(火・祝)12:45～17:00(開場 12:00)</p> <p>開催場所：東京ビッグサイト 会議棟7階 国際会議場</p> <p>共同主催：国立長寿医療研究センター</p> <p>参加申込：会場開催 および YouTubeライブ配信(当日会場:158名、web参加 1,278名)</p> <p>抄録集に誤植があり、約900部の回収と修正して送付で2百万円費用超過となった。</p>	20,993,735
2	<p>在宅医療推進のための全国11ブロックフォーラム 協力:全国在宅療養支援医協会</p> <p>目的：一般社団法人全国在宅療養支援医協会の11ブロック(北海道、東北、北関東、東京、首都圏、甲信越、東海北陸、近畿、中国、四国、九州)において、各エリアの医師・看護師・その他の多職種の教育・研修ネットワーク作り、市民啓発に対する事業を行なった。各ブロック150万円を限度として助成してきた。</p> <p>2021年度から変更:開催単位の変更</p> <p>11ブロック開催から県別開催へ方針転換(当面はブロック開催も可)</p> <p>前年2020年度は、新型コロナウイルス感染拡大による緊急事態宣言や大規模イベントの中止要請もあり、11ブロック会議は中止としたが、2021年度は甲信越ブロックのみ開催となった。</p>	1,500,770
3	<p>「令和3年度在宅医療関連講師人材養成事業」</p> <p>目的：都道府県医師会よりご推薦された先生方を中心に、地域の医師会に所属する先生方と新たに地域の行政担当者を受講対象者とし、それぞれの地域において在宅医療に関する進捗状況を踏まえ、推進活動をするためのリーダー役や行政職員の理解と協力体制を構築と様々な研修会の講師役等を担える医師を養成することを目的とする。</p> <p>受講対象：医師会に所属する医師 <u>42都道府県 195名</u> 行政職員 <u>23都道府県 44名</u> 計239名</p> <p>企画委員会6月～10月に実行委員会5回、8～9月に企画委員会2回開催。</p> <p>開催方式:事前学習とZOOMを活用したワークショップにて開催。</p> <p>① 事前学習(動画:総論4本、テーマ学習6本、各論7本で総論・テーマは必須) ※10月8日(金)～10月23日(土)</p> <p>②Zoomを活用したグループワーク ※10月24日(日)13:00～16:30(日本医師会で開催)</p> <p>助成金：2021年度総事業費9,134,764円のうち、入札額7,700,000円を厚生労働省に請求し、2022年4月度に入金予定。</p>	<p>(総費用) 9,134,764 (厚労省) 7,700,000 (財団) 1,434,764</p>
4	<p>(啓発事業として)ゆうみカレンダー(2022年版)作成</p> <p>利用者及び看護・介護士の皆様から再作成の要望が高いため、2022年版を5万部作成し、配布したが、注文が予想以上に多く寄せられ、3千部を増版して追加配布した。</p>	11,576,177
5	<p>(啓発事業として)無料配布冊子、ポスター、DVD等</p> <p>在宅医療推進のための、以下の冊子を無料で配布。(印刷・発送費)</p> <p>・在宅医療テキスト(第3版)、・病院から「家に帰りたい」という人のために</p> <p>・訪問看護活用ガイド(改訂版)、・暮らしの健康手帳</p>	4,145,141

No.	事業内容	共通経費 配賦前事業費
6	<p>(啓発事業として)インターネットの活用</p> <p>インターネットを用いて、在宅医療等に関する情報等を円滑かつ効率的に提供するシステムの構築及び運用(掲示物管理等の運用)費用で785,688円(内、動画配信費用55,000円×12ヶ月)</p> <p>(株)ABSSに委託したWebリニューアル(財団ホームページのリニューアル)は、2022年3月に第1次改修納品検収分1,694,000円を計上。2022年6月度にHP第2次改修で869千円計上予定。</p>	2,479,688
7	<p>(在宅従事者への情報提供)</p> <p>在宅医療推進のための在宅医療に係るデータ開発 (医療看護・介護等各事業者が持っているデータの共有)</p> <p>(目的)在宅医療への理解・関心を高めるため、発表された在宅医療に係るデータの信頼性を担保しながら、在宅医療関連のデータの収集と調査を実行し、現在の在宅医療の状況と在宅医療の事例やデータを集約する。また、行政・医療・介護従事者および市民が在宅医療への理解を高める情報とそれを使った活動を通じて在宅医療の更なる認知向上と活用することを選択される活動を目指す。</p> <p>(概要)自主事業として日本在宅ケアアライアンスへ委託して実施し、厚労省の発表データとJHHCA加盟の19団体が所持しているデータについての情報シートの形式で整理して保管した。</p> <p>2022年度に情報の更なる収集と現状把握を行い、データ分析を進め、そのデータを活用しやすいように整理してプラットフォーム(web)で公開を目指す。</p>	5,839,611
8	<p>財団設立20周年記念事業</p> <p>目 的：2020年に財団設立20周年を迎えるにあたり、在宅医療普及活動を目的とした20周年記念事業を計画の上、総額2,100万円(2017年度:1,100万円、2018年度:500万円、2019年度:500万円)の特定費用準備金を計上し、記念式典を2020年7月4日に開催する予定だった。(テーマ:これまでの20年、これからの20年)</p> <p>しかし、新型コロナウイルス感染状況により、2021年2月13日に延期するもコロナ感染が収束しないため、コロナ感染を考慮し、WEB開催と在宅医療推進のため新聞広告等を行うことを2020年度第9回定時理事会にて、積立期間1年延長と積立金額を500万円増額することが承認される。</p> <p>開催日程も2021年5月15日と再度延期したが、コロナ感染の拡大と収束の繰り返しで2021年9月20日に延期するもコロナの拡大が止まらず、財団設立者である住野勇名誉理事長も亡くなり、それも延期となり、新聞掲載や事務局委託費等が費用発生したため、再度コスト見直しと削減を行い、その時点で不足資金を2021年第6回臨時理事会で3,281,875円を特定費用準備金で積み立てることを承認頂いた。</p> <p>しかしながら、収束の兆しを見せたかと思われた新型コロナも変異株で第6波が2022年1月から再拡大したため、2022年2月11日も延期とし、新聞や大阪IMPホールと寸劇の事前撮影のキャンセル料(概算2,363,092円)が新たに発生した。</p> <p>現状は、コロナワクチンの第3回目の接種の進捗と感染状況を見ながら東京開催の検討、開催時期を8～9月に延期をすることを2021年度第8回理事会で報告した。</p> <p>積立額：2017年度 11,000,000円 2018年度 5,000,000円(合計16,000,000円) 2019年度 5,000,000円(合計21,000,000円) 2020年度 5,000,169円(合計26,000,169円) 2021年度 3,282,066円(合計29,282,235円)</p> <p>取崩額：2018年度 395,648円 2019年度 3,443,595円(累計3,839,243円) 2020年度 2,783,379円(累計6,622,622円) 2021年度 6,836,515円(累計13,459,137円)</p> <p>積立金残高 15,823,098円(2022年3月末)</p>	6,836,515

「テキスト等、在宅医療等に関する情報収集及び普及啓発事業の実施」62,506,401円

＜公益目的事業4＞
 その他在宅医療等の推進のために必要な事業の実施
 (13,540,311円)

自主事業(6件)

(単位:円)

No.	事業内容	共通経費 配賦前事業費
1	2020年度在宅医療推進のための会 座長: 蘆野 吉和 (山形県庄内保健所 所長) 目 的 : 先駆的に在宅医療を実践している医師たちが中心になり、大学、行政などと協力し、日本に真の在宅医療が広がるための討議と実践をする。 2020年度からワークショップ形式を採用する。 第1回 2021年6月25日(金)19:00~21:00 (ZOOM開催) テーマ : 「COVID-19と在宅医療(続)」 第2回 2021年9月10日(金)19:00~21:00 小児合同会議 (ZOOM会議) テーマ : 「感染症を念頭においた地域包括ケアシステムの構築に向けて」 第1回 2021年12月3日(金)19:00~21:00 小児・成人合同会議 テーマ : 「在宅医療推進のための会・小児合同会議」 ※小児・成人在宅医療従事者合同開催 第3回 2022年3月4日(金)19:00~21:00 (ZOOM会議) グループワーク①がん疾患、②非がん慢性疾患、③神経難病 テーマ : 「早期在宅医療移行を念頭に置いた病院とかかりつけ医の連携について」	716,935
2	小児在宅医療推進のための会(東京地区、大阪地区) 目 的 : 小児在宅医療を推進していくために、小児医療、新生児医療、小児看護に関わる人々、また行政など様々なフィールドで活躍している人々が共に、我が国における小児在宅医療の今後の在り方や発展への道筋について、定期的に集まり議論し検討する会。 ≪東京地区≫座長: 前田 浩利(医療法人財団はるたか会 理事長) 第53回全体会議 2021年7月30日(金)19:00~21:00 テーマ : 「医療的ケア児支援法成立について」 第54回全体会議 2022年1月28日(金)19:00~21:00 テーマ : 「医療的ケア児支援法施行後の教育の変化」 小児コアメンバー会議 : 4回開催 6/4(金)、8/27(金)、11/12(金)、3/25(金) ≪大阪地区≫ 座長: 位田 忍(大阪母子医療センター 臨床検査課主任部長、臨床研修部長) 第28回 小児大阪分科会 2021年7月16日(金)19:00~21:00 テーマ : 「重症心児者の意思決定支援について」 テーマ : 病弱時教育「誰一人取り残さない教育の実現に向けて」 第29回 小児大阪分科会 2022年2月18日(金)19:00~21:00 テーマ : 「移行期医療、年長になっていくか患者への対応」 ≪合同会議≫ 2021年10月22日(金)19:00~21:00 東京・大阪合同会議 テーマ : 「医療的ケア児支援法は、小児在宅医療をどう変えるか」 2021年12月3日(金)19:00~21:00 成人在宅・小児在宅合同会議 テーマ : 「在宅医療推進のための会・小児合同会議」	(東京地区) 1,091,244 (大阪地区) 811,174

No.	事業内容	共通経費 配賦前事業費
3	<p>大都市における在宅医療システムのモデル構築事業</p> <p>(目的)急激な高齢化に伴い、医療、介護サービスの必要性が高まるなか、団塊の世代が75歳以上となる2025年問題の対策として、国は「地域包括ケアシステム」の構築が急務であるとして法制化を進めてきた。</p> <p>「地域包括ケアシステム」の目的は、高齢者の尊厳の保持と自立生活の支援であり、可能な限り住み慣れた地域で自分らしい人生を最後まで続けられるよう、地域における包括的な支援・サービス体制を確立しようとするものである。</p> <p>「地域包括ケアシステム」が、今後普及していくためには、それぞれの地域が現状の問題点を十分に把握する必要があるが、大都市部なかでも首都圏における高齢化の著しい上昇を考えると、従来の政策によりこの超高齢社会を乗り切ることは極めて困難と考えられる。地域包括ケアシステムの構築の必要性、そのための課題を提案し、解決する方法が求められる。過年度より進めてきた「大都市における地域包括ケアをつくる政策研究会」の報告を基に大都市部における総合的な地域包括ケアの提言をまとめることが本事業の目的である。</p>	3,680,537
4	<p>小児在宅医から成人在宅医療への移行期の課題および課題解決に関する研究</p> <p>(目的)2012年診療報酬の中で初めて小児在宅医療という言葉が使われ、小児の在宅医療が認知された。2013年以降、日本小児科学会を中心に小児在宅医療の様々な研修が開催されるようになり、2016年児童福祉法が改正、2017年には日本医師会が小児在宅推進を呼びかけた答申を作成した。</p> <p>小児と成人は医療ケアという点は共通しているが、医療依存度が高く、看取りを前提としていない等、患者の家族の相談の拠り所となっていることが、成人在宅への移行がうまくできない要因となっていることもある。埼玉などの成功例の研究から小児から成人在宅へのスムーズな移行と連携ができる方法を研究することを目的に事業を行う。</p> <p>研究成果を最終まとめて小児～成人在宅への円滑な移行モデル構築する。</p> <p>(概要)自主事業として日本在宅ケアアライアンスへ委託事業として実施。</p>	3,561,904
5	<p>災害時における在宅医療システムのモデル事業構築</p> <p>(目的)日本は、地震、火山活動が活発な環太平洋変動帯に位置し、狭い国土面積に対して地震の発生回数は、全世界の18.5%と極めて高いものとなっています。</p> <p>南海トラフ巨大地震、首都圏直下型地震など、近い将来の発生が指摘されています。</p> <p>また、最近では地球温暖化の影響か、局地的な大雨による水害等の被害も拡大しています。</p> <p>そんな中で緊急時の在宅医療患者の避難や必要な医療提供体制の継続を維持するための提言をまとめることが本事業の目的である。</p>	3,678,517

「その他在宅医療等の推進のために必要な事業の実施」 13,540,311 円

II 処務の概要

1. 役員等に関する事項

2021年度末(2022年3月31日)現在

役名	氏名	就任年月日	担当職務	現職
理事	住野 耕三	2021年6月21日	理事長	株式会社オートバックスセブン取締役(常勤監査等委員)
理事	江副 正通	2021年6月21日	常務理事	公益財団法人 在宅医療助成 勇美記念財団 常務理事
理事	大島 伸一	2021年6月21日		国立研究開発法人国立長寿医療研究センター-名誉総長
理事	鈴木 央	2021年6月21日		鈴木内科医院 院長
理事	辻 彼南雄	2021年6月21日		一般社団法人 ライフケアシステム 代表理事
理事	丸井 英二	2021年6月21日		人間総合科学大学 人間科学部 心身健康科学科 教授
理事	宮武 剛	2021年6月21日		学校法人 日本リハビリテーション学舎 理事長
理事	村松 静子	2021年6月21日		在宅看護研究センターLLP 代表
監事	坂倉 裕司	2021年6月21日		昭和電線ホールディングス株式会社 社外取締役
監事	清水 峰生	2021年6月21日		清水公認会計士事務所 所長
評議員	杉河 修	2021年6月21日		元 オートバックス健康保険組合 常務理事
評議員	田中 滋	2021年6月21日		公立大学法人 埼玉県立大学 理事長 慶應義塾大学 名誉教授
評議員	土橋 正彦	2021年6月21日		土橋医院 院長
評議員	経森 康弘	2020年11月28日		元 株式会社オートバックスセブン 副社長
評議員	山崎 喜比古	2021年6月21日		日本福祉大学 社会福祉学部 非常勤講師
選考委員	柳田 邦男	2022年3月5日	選考委員長	評論家・作家
選考委員	垣添 忠生	2022年3月5日		公益財団法人 日本対がん協会 会長
選考委員	行天 良雄	2022年3月5日		医事評論家
選考委員	辻 哲夫	2022年3月5日		東京大学 高齢社会総合研究機構・未来ビジョン研究センター 客員研究員
選考委員	前沢 政次	2022年3月5日		夕張市立診療所 所長 北海道大学 名誉教授
評議員選定委員	経森 康弘	2020年11月28日		元 株式会社オートバックスセブン 副社長
評議員選定委員	坂倉 裕司	2022年3月5日		昭和電線ホールディングス株式会社 社外取締役
評議員選定委員	坂本 裕二	2022年3月5日		株式会社バッファロー 代表取締役社長
評議員選定委員	野上 明	2022年3月5日		元 株式会社オートバックスセブン 副社長
評議員選定委員	中石 雅仁	2021年6月2日		グレンカル株式会社 代表取締役社長
専門部会委員	秋山 正子	2021年6月2日		白十字訪問看護ステーション 統括所長
専門部会委員	蘆野 吉和	2021年6月2日		山形県庄内保健所 所長
専門部会委員	飯島 勝矢	2021年6月2日		東京大学 高齢社会総合研究機構 機構長 東京大学 未来ビジョン研究センター 教授
専門部会委員	石垣 泰則	2019年6月2日		医療法人悠輝会 コーラルクリニック 名誉院長
専門部会委員	新田 國夫	2021年6月2日		医療法人社団 つくし会 新田クリニック 理事長
専門部会委員	辻 哲夫	2021年6月2日	部会長	東京大学 高齢社会総合研究機構・未来ビジョン研究センター 客員研究員
専門部会委員	山路 憲夫	2021年6月2日	副部会長	小平学・まちづくり研究所 所長
研究成果物評価委員	石垣 泰則	2016年5月1日		医療法人悠輝会 コーラルクリニック 名誉院長
研究成果物評価委員	木村 琢磨	2016年5月1日		埼玉医科大学 総合診療内科 教授
研究成果物評価委員	葛谷 雅文	2016年5月1日		名古屋大学大学院医学系研究科 地域在宅医療学・老年科学講座 教授
研究成果物評価委員	森 清	2016年5月1日		社会医療法人財団大和会 在宅サポートセンター 東大和ホームケアクリニック センター長
研究成果物評価委員	山中 崇	2016年5月1日		東京大学大学院医学系研究科 在宅医療講座 特任准教授
研究成果物評価委員	若林 秀隆	2019年9月6日		東京女子医科大学 リハビリテーション科 教授

2. 会議に関する事項

(1)理事会

開催年月日	議 事 事 項	結 果
2021年4月19日 第1回 臨時理事会	理事会運営規則第6条第1項により、Zoom アプリを利用した開催	
	第1号議案： 重要な契約締結に関する件 (株)ABSSとソフトウェア開発の基本契約を締結	出席者賛成で承認
	第2号議案： 評議員選定委員会への評議員候補者の承認に関する件	出席者賛成で承認
2021年6月2日 第2回 定時理事会	理事会運営規則第6条第1項により、Zoom アプリを利用した開催	
	第1号議案： 2020年度事業報告書並びに同附属明細書の承認に関する件	出席者賛成で承認
	第2号議案： 2020年度計算書類及び同附属明細書並びに財産目録の承認に関する件 監事による会計監査の実施に関する件 2020年度監査報告	出席者賛成で承認
	第3号議案： 定時評議員会に提出する理事候補者の承認に関する件 森田清文常務理事の任期満了に伴う退任による新任候補	出席者賛成で承認
	第4号議案： 定時評議員会に提出する監事候補者の承認に関する件	出席者賛成で承認
	第5号議案 専門部会委員の選任に関する件	出席者賛成で承認
	第6号議案： 評議員選定委員の選任に関する件	出席者賛成で承認
	第7号議案： 定時評議員会の日時及び場所並びに目的である事項等に関する件	出席者賛成で承認
	報告事項： 2021年度(前期)在宅医療助成公募受付の開始について	了承
2021年6月16日 第3回 臨時理事会	定款第39条第2項の規定に基づく決議の省略の方法による理事会の開催	
	第1号議案： 株式会社オートバックスセブン第74期定時株主総会における議決権行使の承認に関する件	決議省略
	第2号議案： 株式会社オートバックスセブン第74期定時株主総会における議決権行使の委任状の提出の承認	決議省略
2021年6月30日 第4回 臨時理事会	定款第39条第2項の規定に基づく決議の省略の方法による理事会の開催	
	提案事項1： 理事長の任期満了に伴う選任の件	決議省略
	提案事項2： 乗務理事の任期満了に伴う選任の件	決議省略
2021年8月5日 第5回 臨時理事会	理事会運営規則第6条第1項により、ZOOM アプリを利用した開催	
	第1号議案： 2021年度(前期)助成公募(選考委員会決定)について	出席者賛成で承認
	第2号議案 【取下げ】メンタルヘルスサポートの実態調査と実践構築事業について	2号議案取下げ
2021年11月13日 第6回 臨時理事会	理事会運営規則第6条第1項により、ZOOM アプリを利用した開催	
	第1号議案： 財団設立20周年記念行事の追加予算について	出席者賛成で承認
	第2号議案： 助成サポートシステム導入と重要な契約の締結	出席者賛成で承認
	報告事項1： 第17回在宅医療推進フォーラム開催のご案内	了承
	報告事項2： 財団設立20周年記念式典の件	了承
2021年12月20日 第7回 臨時理事会	定款第39条第2項の規定に基づく決議の省略の方法による理事会の開催	
	第1号議案： 【取下げ】電子帳票保存法改訂に伴う電子取引データの改訂及び削減に関する事務処理規定の制定に関する件 ⇒12/6(月)企業の電子化の遅れで、政府が2年間、猶予することを発表したため、取り下げた。	取下げ
2022年3月5日 第8回 定時理事会	理事会運営規則第6条第1項により、ZOOM アプリを利用した開催	
	第1号議案： 2021年度(後期)公募助成の承認について	出席者賛成・承認
	第2号議案： 2022年度事業計画案及び収支予算書案に関する件	出席者賛成・承認
	第3号議案： 評議員選定委員の任期満了に伴う選任について	出席者賛成・承認
	第4号議案： 選考委員の任期満了に伴う選任について	出席者賛成・承認
	報告事項1： 財団設立20周年記念事業について	了承
	報告事項2： (株)ABSSとのシステム開発の状況について	了承

(2)評議員会

開催年月日	議事事項	結果
2021年6月21日 第1回定時評議員会	理事会運営規則第6条第1項により、ZOOMアプリを利用した開催	
	第1号議案：2020年度事業報告書並びに同附属明細書の承認に関する件	出席者賛成・承認
	第2号議案：2020年度計算書類及び同附属明細書並びに財産目録の承認に関する件	出席者賛成・承認
	第3号議案：理事候補者の選任に関する件	出席者賛成・承認
	第4号議案：監事候補者の選任に関する件	出席者賛成・承認
	報告事項1：専門部会委員の選任に関する件	了承
	報告事項2：評議員選定委員(外部委員)の選任に関する件	了承
	報告事項3：2021年度(前期)在宅医療助成公募受付開始について	了承

(3)監事

開催年月日	議事事項	結果
2022年4月30日 ～5月18日 決算監査	2021年度会計及び業務の監査/4月25日(月)決算書・事業報告書送付 新型コロナ禍であり、決算書類送付(4/25)、及び、4/30～5/11期間で事業報告内容、決算監査をweb等にて内容の確認を行う方式で実施。5/18(水)最終の財団にて監事による監査ヒアリングを実施。	坂倉監事 清水監事

(4)選考委員会

開催年月日	議事事項	結果
2021年7月5日 第1回選考委員会	報告事項：2021年度在宅医療助成(前期)募集結果について 議題： 2021年度在宅医療助成(前期)助成決定に関する件 ・一般公募「在宅医療研究への助成(一般・論文枠)」 ・指定公募「市民の集い開催への助成」 ・指定公募「在宅医療推進のための多職種連携研修会」 ・指定公募「在宅医療推進のための学会等への共催」 ・指定公募「在宅医療推進に寄与するモデル的な研修・セミナーへの助成」 ・指定公募「課題解決型実証研究(論文枠)」	92件採用決定
2022年2月1日 第2回選考委員会	運営規則第6条第1項により、ZOOMアプリを利用した開催 報告事項 2021年度在宅医療公募(後期)募集結果について 議題 2021年度在宅医療助成(後期)助成対象決定に関する件 一般公募「在宅医療に関する研究調査」 指定公募「在宅医療における感染症対策の教育及び啓蒙助成財団事務局から公2についての報告」	78件採用決定

(5)専門部会

開催年月日	議事事項	結果
2022年1月25日 第1回専門部会	運営規則第6条第1項により、ZOOMアプリを利用した開催	
	議案1：公募助成指定枠(公益目的事業1)について	討議・上程
	議案2：研修・人材養成(公益目的事業2)について	
	議案3：普及啓発事業(公益目的事業3)について	
	議案4：その他の事業(公益目的事業4)について	
	自主事業について	
その他：次年度以降に財団として行うべき事業について		

(6) 評議員選定委員会

開催年月日	議 事 事 項	結 果
2021年4月30日 第1回評議員選定委員会	評議員選定委員会規定第10条の規定による決議の省略、書面回答 第1号議案 評議員4名の任期満了に伴う選任に関する件 第1回臨時理事会にて承認された評議員選定委員会に提出する評議員候補者4名選任の件	全員書面同意

(7) 研究成果物評価委員会

開催年月日	議 事 事 項	結 果
第1回研究成果物評価委員会	運営規則第6条第1項により、ZOOMアプリを利用した開催 第1号議案 2019年度公募助成研究の中から優秀な研究を勇美賞とすることの審査と決定予定であったが、コロナ禍で完了できない助成申請者が増えたため、結果報告の期間を延長した。 2019年度と2020年度の勇美賞は、2022年度に年度ごとに分けて実施で計画する。	(未開催) 次年度へ繰越し